第3学年国語科学習指導案

平成16年11月19日(金) 日 時 童 男 指導者 教 諭

1 単元名

場面の様子を想ぞうしながら読もう

「ちいちゃんのかげおくり」 あまん きみこ

3 教材について 本教材は、学習指導要領の「C読むこと」の(1)ウ「場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら 、 「事からている内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読むこと。」を主なねら 記して、。」カー音がれている内容の中心や場面の様子かよく分かるよつに声に出して読むこと。」を王なねらいとしている。情景を想像することは、作品をより深く味わい、読みを豊かなものにすることを意図している。また、本教材は平和をあつかった最初の作品である。戦争の悲惨さを直接に生々しく訴えた作品ではない。戦争反対を声高に叫ぶ作品でもない。淡々とした文体ゆえに、なおのこと無垢な幼子の透き通るような清い「いのち」を感じさせ、大切なものを奪い去ってしまう戦争の悲惨さを痛感させる。本文は、五つのまとまりから構成されており、特に、最後の「それから何十年」かたった町の様子は、現代に生きる我々に平和の大切さと、それを守っていくことの尊さを示している。

場面の様子を想像しながら読むことは、当時の時代背景を正確に把握しなければできないというわけでは必ずしもない。児童はこの作品を読みながら、ちいちゃんと一緒にかげおくりをしたくなったり、お母さんとはぐれたちいちゃんの姿に涙したり、まさに、ちいちゃんに自分を重ね合わせて読み進めることができると思われる。 家族みんなでやったかげおくりと、ちいちゃん一人でやったかげおくりの二つの様子が対照的に描写されている。 一言も語らないちいちゃんに代わって、戦争がちいちゃんから奪ったものを読み取ったり、「みんなでのかげおくり」から「ちいちゃんのかげおくり」に変わってしまったことについて考えるなど、ちいちゃんの気持ちを代 弁することによって、主題に迫ることができるであろう。

4 児童の実態について

3年生の児童は、明るく、素直で、自分の考えや思っていることをみんなに聞いてほしいと思っている子が多い。国語の時間には、自分の感想を発言するのに抵抗は少ない。しかし、その考えをまとめて文に書いたり、友 達の考えと比べて聞いたりすることが困難な子も見られる。

読み取りに関しては、文章の全体的な雰囲気から登場人物の感情を想像することができるが、叙述に即して豊かに読み取ることは苦手である。

児童は戦争に対して、ほとんどイメージを持っていない。もっているとしても、戦車、飛行機などの最近の機械やコンピュータを駆使した戦争のイメージである。戦争による、悲惨さ、怖さなどは当然のことながら、理解することが難しい。そこで、文中の語句については必要最小限に説明を加えていく必要があると思われる。また、 当時の写真や、絵などを参考にして視覚的にも理解の手助けとしたい。

本単元を通して、児童が会話文や様子を表す表現から主人公の気持ちを想像できるような指導が必要である。そこで、発問を大切にし、ちいちゃんの心情に迫らせていきたいと考える。
本単元では、「選択」させる発問をし、会話文やちいちゃんの様子を表す表現に着目させていく。
そして、「統合」させる発問を通して、ちいちゃんの置かれている状況や周りの様子の移り変わりをとらえさせたい。さらに、みんなのかげおくりと一人ぼっちでするかげおくりを対比し、題名に込められた平和への願いを考えさせ、思考を深めていきたい。

「類推」させる発問を通して、一人になってしまったときのちいちゃんの気持ちや、家族がくると信じ一人で防

空壕の中で眠ったときの心情を考えさせたい。 学習活動については、会話文やちいちゃんの様子に着目するために、サイドラインを引いて読み取っていく。 そして、中心になる文を視写したり、音読したり、さらには、そこから想像できることを書き込んだりすること によって、ちいちゃんの気持ちを豊かに読み取らせることができると思われる。また、友達と考えを交流し、-人一人の感じ方に違いがあることを理解させたい。

指導目標

場面の様子を叙述に即して想像しながら読み、感想を深める。

[国語への関心・意欲・態度]

・戦争のことを書いた他の物語に興味をもち、読書への意欲をもとうとする。

〔読むこと〕

・場面の移り変わりや情景・人物の気持ちを、叙述をもとに豊かに想像しながら読む。 [書くこと]

・戦争のことを知っている人に「ちいちゃんのかげおくり」を紹介する目的で紹介文を書く。

[言語事項]

- 1間(京) ・複合語、体言止め、ダッシュなどの意味を理解し、短い作文で使う。 ・反対の意味を表す言葉を、習った漢字を使って書く。(「言葉の学習」)

単元の評価規準

[国語への関心・意欲・態度]

・戦争のことを書いた他の物語に興味を持ち、すすんで読書しようとしている。

〔読む能力〕

・場面の移り変わりや情景・人物の気持ちを、叙述をもとに豊かに想像しながら読んでいる。 [書く能力]

- ・戦争のことを知っている人に「ちいちゃんのかげおくり」を紹介する目的で紹介文を書いている。 [言語についての知識・理解・技能〕・複合語、体言止め、ダッシュなどの意味を理解し、短い作文で使って書いている。・反対の意味を表す言葉を、習った漢字を使って書いている。

7 指導計画と評価規準 (12時間)

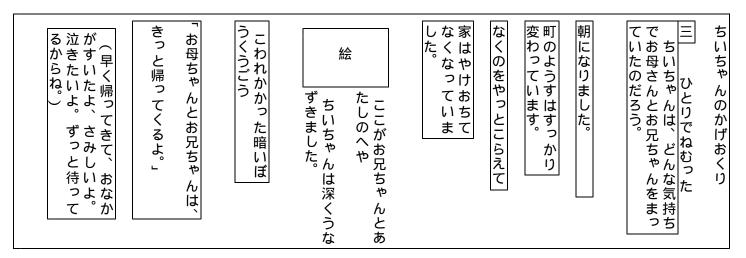
段階	学習活動	評価規準	時間
つかむ	「ちいちゃんのかげおくり」の全文を読む。 ・感想を書き、発表し合う。	〔国語への関心・意欲・態度〕 ・作品に興味をもって読んでいる。	1
ູຍ	感想をもとに、学習課題を作る。	〔読む能力〕 ・学習の見通しをもち、読みのめあてを 見つけようとしている。	1
よみと	第1場面 ・仲むつまじくかげおくりをする家族の場面を読む。 ・役割音読・記念写真の意味 家族四人はどんな気持ちでかげおくりをしたのだろう。	〔読む能力〕・仲むつまじくかげおくりをする家族の様子や気持ちを読み取っている。	1
వ	・悪化する戦況を読む。・ちいちゃんへの同化・かげおくりの場面との比較お父さんがいなくなって、ちいちゃんたちのくらしはどうかわっただろう。	〔読む能力〕 ・悪化する戦況を読み取っている。	1
	第 2 場面 ・空襲の中を逃げまどい、ひとりぼっちになってしまうちいちゃんの場面を読む。 ・空襲の緊迫感の把握 お母さんとはぐれてしまったちいちゃんは、どんなことを思っただろう。	〔読む能力〕・空襲の中を逃げまどい、ひとりぼっちになってしまうちいちゃんの様子を読み取り、気持ちを想像している。	1
	第3場面 ・母や兄の帰りを信じて、待ち続けるちいちゃんの場面を読む。 ちいちゃんは、どんな気持ちでお母さんとお兄ちゃんをまっていたのだろう。	〔読む能力〕 ・母や兄の帰りを信じて、待ち続けるち いちゃんの様子を読み取り、気持ちを 想像している。	1 本時
	第4場面 ・ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子 や願いを読みとる。 ・第1場面との比較 ちいちゃんはどんな気持ちでひとりでかげおくり をしたのだろう。	〔読む能力〕・ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子や家族に対する願いを読み取っている。	1
	第5場面 ・現在の公園の様子と比べながら、ちいちゃんの命が 消えていく様子について感想をもつ。	〔読む能力〕 ・現在の公園の様子と比べながら、ちい ちゃんの命が消えていく様子について 感想を書いている。	1
かんがえる	この作品の主題について考える。	〔読む能力〕 ・作品の主題について理解している。	1
いかす	「言葉の学習」をする。 戦争をあつかった他の物語を読む。	〔言語についての知識・理解・技能〕・反対の意味のこ言葉を習った漢字を使って書いている。〔読むこと〕・戦争・平和について書かれた物語を探して読んでいる。	2
	戦争のことを知っている人に「ちいちゃんのかげお くり」を紹介する	〔書く能力〕 ・学習したことをもとに、紹介する方法 を考え、紹介する文章を書いている。	1

8 本時の指導(1) 目標・母や兄の帰りを信じて待ち続けるちいちゃんの様子を読み取り、気持ちを想像する。(2) 展開

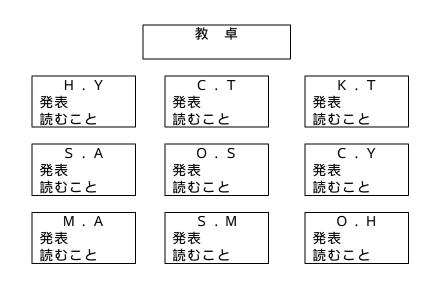
1 前時までの学習場面を確認する。 ・前時はどんな場面でしたか。 ・お母さんとはぐれた。 ・カンとりぼっちになってしまったちいちゃんの様子と気ではの人たちの中で眠った。 か 2 学習課題を確認する。 ちいちゃんは、どんな気持ちでお母さんとお兄ちゃんをまっていたのだろう。 ・読む視点(ちいちゃんの行動・様子に気をつけて)をあたえる。・指名読み 5分 (P11 L7~P13 L7) ・まちの様子はどうなりましたか。 ・すっかり変わった。「すっかりかわっています。」から前	(2)				Hadi	
世場面を確認する。	段階	学習・種族の学習場面	主な発問			評価
### 2 学習課題を確認する。 2 学習場面を語言する。			ぐしたか。			
### 2 学音課題を検		ତ ,				
数する。	か	2 学習課題を確	ちいちゃんは.			
お母とはおおよう。	/5			C HLV > 7C 8		
1	む	#3 7 C 0				
		3 学習場面を音	ちゃんをまって		・読む視点(ちいち	
中 13 L 7)			いたのだろう。			
4 学習場面を読み深めていく、(P11 L 7 P13 L 7)	5分	1 -				
4 学習場面を読みという。		P13 L/)				
示惑のていく。 (P11 L 7 - P13 L 7) まちの様子はどう なりましたか。 (選択) ・ 地に声声がけられたのですが。 なんて答えたの? ・ どんなぶうに答え、・ はず向かいのおばさんがうからないうですが。 などころに引うことが分かればいい ですが、(選択) ・ なぜ、「あうちのとこ」 ・ なぜ、「あうちのとこ」 ・ なぜ、「あうちのとこ」 ・ なぜ、「あうちのとこ」 ・ なぜ、「あいまたのですか。 「家はどうなっていましたか。」 ・ 家はどうなっていましたか。 「家はどうなっていましたか。」 ・ おいちがら、 ましたか ・ おいちがら、 ましたか ・ おいちがら、 ましたか ・ おいちがら、 でなけいたとおけいたなん と言うたの? ・ たいに帰ってくるの。 ・ たいに引った なば、ですか。 (動作化) ・ おはちゃんと はかやってみんはいたがななが、なば、たのですか。 「家はうから、 こに帰ってくるの。 ・ まに持ってくるの。 ・ なばらから、 こに帰ってくるの。 ・ なばらから、 こに帰ってくるの。 ・ ながらいたがはいたがなが、なば、ですか。 ・ ながらいたがながらないによった。 ながらいたが、 深くうなずいたとはかやってみんはいたがながらないにあった。 ・ ながらいたのですか。 (動作化) ・ ・ おいちゃんとはいかっちいらがあるととはからがあるととがありから。 「深く」があるととがのの心のになっている。 ・ がらがあるとというがらかいる。 はできかがしまたがに自分に言いばらかがら自分に言いばらかがらに自分にもいちゃんの心の中の言葉、 などのかる。 ・ ひとりばっち押さん。 こ、 は同かせている。 ・ もいちをんの心の中の言葉、 などのかる。 ・ ひとりばっち押さん。 こ、 もいちゃんの心の中の言葉、 などのかる。 ・ ひとりばっち押さん。 こ、 は同かせている。 ・ もいちもんを持って、 に限のかいる。 ・ もいちもんを持って、 に関助せている。 ・ もいちもんを持って、 に関助せている。 ・ もいちもんの心の中の言葉、 ないちもいもん。 でもいちもなる。 ・ もいちもんの心の中の言葉、 ないちもいもん。 でもいちもなる。 ・ もいちもなる。 ・ もいちもいもん。 でもいちもならん。 ではいちゃんとしたが、 がいちもん はいなもちゃんと・ ・ 場はいちゃんとしたが、 がいちもん からの心の中の言葉、 ないもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいも		4 学習提而を詰			・拍句読の	
(P11 L7- まちの様子はどう なりましたか。 (選択) ・誰に声をかけられたのですか。 なんで答えたの? まちのところにサウドラインを引う。 (選択) ・なせ、ためないのですが。 (選択) ・なせ、方のですか。 ・ ましたか。 (場け落ちた家の) ・家にはおればいた。 方のがけ落ちてなっていましたか。 ・ ましたか。 ・ まりがけ落ちてないっていた。 いない。 来ない。 ・ おりがけ落ちてないっていた。 いない。 来ない。 ・ おりがけ落ちてないっていた。 からがけ落ちてないっていた。 からがけ落ちてない。 ・ おいちゃんとのの。 ・ おいちゃんとのですか。 と言ったかんとありますいにしたかですから。 ・ まいちゃんとでいたのですか。 (類性) 「お母母ちゃんとでよみによった」 ・ 「深く」があるとといたの気持ちを読みとる。 ・ ちいちゃんの心の中の言を・ 大夫もている。 しばいちゃんら、 はいちゃんの気持ちを読みとる。 ・ ちいちゃんの心の中の言を・ 大夫もているとといるとは、 はいちゃんら、 はいちゃんら、 はいちゃんら、 にいるとしてくるとっているとといているとといるとは、 なけいちゃんら、 いないちゃんら、 はいちゃんら、 はいちゃんら。 ・ ちいちゃんら、 といいちゃん。 といいちゃん。 といいちゃんの心の中の言を・ はいると (親母) ・ ひとりばっち神でもになった。 は間かせている。 (視写)						
か が はに声をかけられ でなん で答えたの? を がらからいしい。 かちゅりちゃ。 ・ とに が分かればいい かちゅりがられ であるところに ですが、 がかっているところに ですが、 であるところに ですが、 であるところに ですが、 であるところに ですが、 であると ですが、 であると ですが、 であると ですが、 であると ですが、 であると ですが、 であると であるのら。 ・ 家はどうなっていましたか。 ・ 家はどうなっていましたが、 であると ですが、 があると であればいたの? いたを読みとる。 ・ のいちいちゃんと にどったがったなば、 ですが、 では できないない ですが、 では できないない できない でき			・まちの様子はどう	・すっかり変わった。	「すっかりかわって	
##に声をかけられたのですか。 - 能に声をかけられたのですか。 - なんなふうに答えたの? - どんなふうに答うかるところにとかかるところにとかってもいってすか。 - なぜ、「おうちのとですか。 - なぜ、「おうちのところに対け。						
・誰に声をかけられたのですか。 なんて答えたのできなたの? ・ どんなふうたの ? ・ どんなふうに答えたのですか。分付ドラインを引した。 (選択) ・ なぜ、、なが、 ! おうちのと ですか。 ・ 家はどかか ・ 家はとのか。 ・ 家はとのから。 ・ 市がはちゃんとの気持ちを読みとる。 ・ ましいたからいちいちゃんとの気持ちを読みとる。 ・ アス ちゃんはいなかと と できがらいたがいない ですが、	١Š١		(選択)		夜との違いを読み	
たのですか。 ・なんなふうに答えたの? ・どんなふうに答えたのですか。 ・どんなふうに答うにうっく 選択) ・なぜ、泣きたいのですか。 ・家は、かきからとこっとですか。 ・家はどうなっていましたか。 ・お見ちゃんとか。 ・お見ちゃんとのいましたか。・お出ちゃんの一方がはなかとる。 ・その時ちいちため。・その時ちいしたか。・はどうなようにしたがきがいたとはどのようにしたがですがいたですが。 ・その時からはなかとる。 ・ですか。 ・その時から対方を読みとる。 ・では、「なきないのですか。 ・なぜ、「なきないのですか。 ・なせいなか。 からがはなかとしたがですなが、こに帰ってくるから、こに帰ってくるがしいた。 いなばちゃんの可がいた。 に深くうなずいたな、 に深く方なずいたなが、 なぜ、ぶっながいたないかですなが、 ですがいた。 に、深く方ながいたないですなが、 でもないのですいたのですいたのですいたのですがいたのですが、 でも対したのですが、 でも対したがでするとはでもからもないのですが、 でいながいたが、 はどうなようにしたがでするとはだいた。 ・ はばちゃんはいなくるとなんのとせいがってもははいなくても大と表行っていた。 ・ もがはちゃんはいなくるとなんのでは、 でいいちもどってもいないでもせる。 ・ おいちゃんはいなる、 でいいちゃんはいなくなでも、 でいいちゃんはいなくなでも、 でいいちゃんはいなくなでも、 でいいちゃんはいなくなでも、 でいいちゃんはいなくなでも、 でいいちゃんはいなくなでも、 でいいちゃんでも、 でいいちゃんでも、 でいいちゃんでも、 でいいちゃんでは、 でいいちゃんでも、 でいいちゃんでも、 でいいちゃんでも、 でいいちゃんの心のでは、 でいいちゃんの心のでは、 でいいちゃんの心のでは、 でいいちゃんの心のでは、 でいいちゃんが自分には、 でいちゃんが自分には、 でいいちゃんが自分には、 でいいちゃんが自分には、 でいちゃんが自分には、 でいちゃんが自分には、 でいいちゃんが自分には、 でいちゃんが自分には、 でいいちゃんが自分には、 でいいちゃんと、 でいいちゃんがしいが、 でいいもいがも、 でいいもいもいがも、 でいいもいもいがも、 でいいもいもいがも、 でいいもいもいがも、 でいいもいいもいもいがも、 でいいもいもいもいもいもいもいがも、 でいいもいもいもいいもいもいもいもいもいもいもいもいいもいもいもいもいもいもい			***	_	-	
・ なんて答えたの? ・ どんなふうに答えたのですか、分か るところにサイドラインを引こう。 (選択) なぜ、泣きたいのですか。(類推) なぜ、「おうちのとこ かましたか。 ・ 家はどうなっていた。 ・ か見ちゃんとお母 おいばときにかのですが、(類にもどったちいちを読みとる。 ・ お見ちゃんとお母 ちゃはいたか。 と言ったの? ・ その時ちいちゃんはなかと言ったのですが、なぜ、アインなずいたがなどでようよう。 ちいちゃんの気持ったいいたのですか。 (類性) などうなずいたがなびにがなび、などのようによう。 ちいちゃんの気持ったいいですか。 (類性) などうなずいたがなび、など、アインなどのようによったいちゃんが、など、アインなどのようによったいちったいになってもいたのですが、なぜ、アインなど、アインなど、大きとないになってもいたのですが、なぜ、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなど、アインなどのよいなくてもないなくてもないなくてもないかたでもことを対かたではいたがたくること、アインないとでは、アインないはいなくてもないなくてもないたを行っている。 おいちゃんはいなくてもいたをでもいなくると思っないがたくることを対かたでは、アインないとでは、アインないとでは、アインないとでは、アインないとでは、アインないとでは、アインないと、「対けにないなくてもないないがないとは、アインないと、「対けにないないとは、アインないとは、アインないと、「対けにないない」がないとは、アインないとは、アインないと、「対けにないない」がないと、「対けでもいない」がないとは、アインないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がない。「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないと、「対けでもないない」がないでは、アインないと、「対けでもないない」がないないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないでは、アインないないでは、アインないないでは、アインないないでは、アインないでは、アインは、アインないないでは、アインないないでは、アインないないでは、アインないないないないでは、アインないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	か					
○ どんなふうに答えたのですか。分かるところにサイドラインを引こう。(選択)・なぜ、泣きたいのですか。(類推)・なぜ、泣きたいのをとこ」と答えたのですか。・家はどうなっていましたか。・家はどうなっていましたか。・おおちゃんとお母ちいちゃんの気持ちを読みとる。 「は母ちゃんと、ですか。(類推)・おのよう。・ちいちゃんはなか。・深くうなずいたとはどのよみよよう。・ちいちゃんはあってはどうながいたとはどのようよいたかってもから。・方がちゃんはいなくですか。(類推)・おりちゃんともいたのですか。(類推)・おりちゃんともいたのですか。(類推)・おりちゃんともよ」があらまいたのですか。(対けている。・があら、いるから。・「深く」があるときを読みとる。・「深く」があるとときとはどのよう。・「深く」があるとときというのから。・「深く」があるとときというのから。・「深く」があるとときというのから。・「深く」があるとときとがから。・「深く」があるとときとがから。・「深く」があるとときとはにますか。(統合)・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだけ、がいるの心の中の言葉。(数字 思いらなから。・「ないもならにして持ちゃんと、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ж				か分かれはいい	
たのですか。分か るところにサイドラインを引につってすか。 (選択)	עט		~なルで含んだり?	つ ソウいここ		
たのですか。分か るところにサイドラインを引につってすか。 (選択)	る		・どんなふうに答え	「泣くのをやっ <i>とこ</i>	・本当は泣きたいが、	
おしているにサイド ラインを引こう。 (選択)						
(選択) ・なぜ、次きたいのですか。 (類析) ・なぜ、「おうちのですか。 (表す) をとこ」を答えたのですか。 ・家はどうなっていましたか。 (場け落ちた家の おにちゃんとお母 からちゃんとおおりまったり、お兄ちゃんとお母 おおちゃんのできがいたが、とと言ったの? ・その時ちいたが、ととはどのようからはたか。 (動作化) ・なば、次ですいたとはどのようがようにしたがかっているがらったがなずいたとはどのようがようにしたがかっているは、次ですがいた。 (動作化) ・ちいちゃんはまたがながいたですい、深くうなずいたとなど、次ですがいた。 (動作化) ・お母ちゃんといるようにいるがらいたなずいだながいる。 (類性) ・おの時にこる。 おいちゃんはないでではいたなずいだながいる。 (類性) ・おの時にこる。 おいちゃんはでは、次でからいたくるにした。 おばちゃ人を高いがから、 「深く」があるときごう違いますか。 (、			るところにサイド		ていることをおさ	
・なぜ、泣きたいのですか。(類推) ・ なぜ、「独ちないとこ」と答えたのとこ」とあるえたのですか。 ・ 家はどうか。 ・ 家はどうか。 ・ 家はどかか。 ・ お兄ちゃんとお母ちゃんの気持ちを読みとる。 ・ お兄ちゃんとお母ちゃんはいたなんと言ったの? ・ その時ちいちゃんは、 と言ったの? ・ その時ちいちゃんは、 ですがよりのなずくうなずいた。 ・ はどのようにようになってもいたがかいてみんはまた、					える。	
ですか。(類推) ・なぜ、「おうちのとこ」と答えたのですか。 ・家はどうなっているからあったった。				***		
・なぜ、「おうちのとこ」と答えたのですか。 ・家はどうなっていましたか。 ・家はどうなっていましたか。 ・お兄ちゃんとお母いでもの気持ちを読みとる。 ・お兄ちゃんとお母らいちゃんはいたかですが、でなどうなずいたとはどのようにしたかやってみよようにとしたかやってみよようにですが、なぜ、のですかなが、なず、深くうなずいたがなが、なず、深くうなずいたがなが、なず、深くうなずいたがなが、なず、深くうなずいたがなが、なず、でですが、なず、でですが、なず、でですが、なず、でですが、なず、でですが、なず、でですが、なが、でですが、なず、でですが、なが、でですが、なが、でですが、なが、でですが、なが、でですが、なが、でですが、なが、ないときでは、に、無対している。・絶対にこれでは母とというない。・があるとというならい。・「深く」があるとというから。・「深く」があるとというから。・「深く」があるとというから。・「深く」があるとというから。・「深く」があるとというから。・「深く」があるとというから。・「深く」があるとというから。・「でない」にはいなくても大く信こととが分かる。・「な母」では、まいちゃんの心の中のもとは、おいちゃんの心の中のもとはですか。・、、、、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	分		• •	-		
を答えたのですか。 ・家はどうなっていましたか。 ・お兄ちゃんとお母がにもどった方にいちゃんの含かにもだった方にいちゃんの言がにもだった方にいちゃんのさから。 ・おの時ちいちゃんのうからうかではまかからであればまで、なぜ、深くうなずいたたかやってみようがでいたがですが、はどうのよみはまたが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかにする。・絶対ここに帰って、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはないですか。(類推)・・・帰れているから。・・「深く」があるとちを読みとる。 ・「深く」があるとさいからがあるともが分から。・「深く」があるときとが分かる。(統合)・・・・帰れている。(統合)・・・・帰れている。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			て 9 か。(無推 <i>)</i>	, G O O 1 1 .		
を答えたのですか。 ・家はどうなっていましたか。 ・お兄ちゃんとお母がにもどった方にいちゃんの含かにもだった方にいちゃんの言がにもだった方にいちゃんのさから。 ・おの時ちいちゃんのうからうかではまかからであればまで、なぜ、深くうなずいたたかやってみようがでいたがですが、はどうのよみはまたが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかにする。・絶対ここに帰って、なが、深くうかはまたがなが、なが、深くうかはないですか。(類推)・・・帰れているから。・・「深く」があるとちを読みとる。 ・「深く」があるとさいからがあるともが分から。・「深く」があるときとが分かる。(統合)・・・・帰れている。(統合)・・・・帰れている。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			・なぜ、「おうちの	・家に帰ればお兄さ		
ですか。 ・家はどうなっていましたか。 ・お兄ちゃんとお母跡にもどったちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・お兄ちゃんはいたのできたがいちを読みとる。 ・おいちゃんはいたか。・おはちゃんはと言ったのでです。 ではどうしましたか。・深くうなずいたとはどのようにしたかやってみようにいたのですいたのでは、ですか。 ではいちゃんの気持ちを読みとる。 「お母ちゃんと・・・解推) 「お母ちゃんと・・・・帰ってくるよ。」が母ちゃんと・・・・帰ってくるよ。」が母ちゃんと・・・・帰ってくるよ。」はだれのでは、統合)・「深く」があるとちを読みとる。 「お母ちゃんでは、「類推) 「お母ちゃんと・・・・帰ってくるよ。」はだれのことが分かの気持ちを読みとる。 「お母ちゃんとさら違いますか。 でいるととが分から、「がようなではいなくても大を待っているととが分から、「がようなではいなくても大を待っているととが分から、「ないときしょが分から、」があるととが分から、「からをしますか。 ではいちゃんの心の中の言葉。 ちいちゃんの心の中の言葉。 ちいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんの心の中の言葉。 ちいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞かせている。 ではいちゃんが自分に言い聞からいからいからいからいからいからいからいもいというないました。 ではいちゃんが自分に言いはいちゃんが自分に言いはいいからいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいもいも			-	•		
・家はどうなっていましたか。 ・				るのだと思ってい		
### ましたか。 ましたか。 ましたか。 ましたか。 まいない。 来ない。 表にちゃんとお母がにもどったちいきを読みとる。 ・おばちゃんはなんと言ったの? ・おばちゃんはなんと言ったの? ・その時ちいちゃんはよしたか。 ・深くうなずいたとはどのようにしたかやってみよっ。 ・ちいちゃんはあった。 深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなが、なば、深くうなずいたがなが、なば、深くうなずいたがいる。 ・絶対ここに帰ってなると思るると思いななくると思るとにしている。 ・をがけいると思るとにしている。 ・がもとはら違い ・おばちゃんはいなくても大丈夫、お母ちゃんを行いる。 ・「深く」があるときたかんともいる。 ・「深く」があるときとが分かる。 ・ちいちゃんのことに対したがもどにはいちゃんさいなくでも大丈夫、お母ちゃんを行いる。 では、動作化というでもの思いたと、とが対している。 ・まいちゃんの心の中の言葉。 もいはいなくのたもという違い では、動作化はいちゃ考えとせいい。 ・まいちゃんでいることを対している。 ・ないまないはなくでも大丈夫、お母ちゃんを行いる。 ・ないとらせる。 ・ないとらせる。 ・ないとらせる。 ・ないとらせる。 ・ないはなくにはないなくにはないから。 ・ないはなくにはないないはなくにはないないともにはないないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはな				-		
焼け落ちた家の 跡にもどの気持ちを読みとる。 ・お兄ちゃんとお母 ちゃんはいたの? ・おばちゃんはなん と言ったの? ・その時ちいちゃん はどうしましたか。 ・深くうなずいたと はどのようにしたかやってみよはまた 深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなでが、なででのですか。 「お母ちゃんと・・・帰ったるよ」の気持ちを読みとる。 「「深く」があると ときとないときでは どう違いとう。」 「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」のちちゃんと・・・・帰ってくるよ。」があると きとないときでは どう違いとう。。 ・がいちゃんのこと ・おいちゃんのことは、・動作化) ・おに帰ってくる。 ・絶対ここに帰って、・を絶対ここに帰って、・を絶対ここに帰って、・絶対ここにに帰って、・がもとでもいたでです。 ・絶対ここに帰って、・かいもとと、・・をがしる。とがかたく信じている。・おいちゃんはいなくても大んを待っていると信じても大んを待っているがあると きとないときでは どう違いとう。 ・「深く」があると きとないとう違いとが分かる。 ・「深く」があると さどが分かる。 ・「深く」があると さどが分かる。 ・ちいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に 高い関かせている。(視写) ・ひとりぼっちになったとしたがからないのでは、ですか。(視写) ・ ひとりばっちになったことでが分かる。・ でいたことを押さえる。 ・ でいたことを押さえる。 ・ でいたことでが分かる。 ・ でいたことでがたく信じとを読みとらいとう違いとが分かる。 ・ でいたらせる。 ・ でいたこと でいたこと でがたく信じている。 ・ でいたがたく信じている。 ・ ではちゃんが自分に 高い関かせている。 ・ でいたことで押さえる。 ・ でいたことを押さえる。 ・ でいたことをが分かる。 ・ でいたことを押さえる。 ・ でいたことを押さる。 ・ でいたことを押さる。 ・ でいたことを押さる。 ・ でいたことを押さる。 ・ でいたことを押さる。 ・ でいたことを押さる。 ・ でいたこと では、 でいたことを では、 でいた では、 でいた では、 でいた では、 でいたことを では、 でいた では、 では、 では、 では、 でいた では、 でいた では、 でいた では、 でいた では、 でいた では、 でいた では、 では、 では、 では、 では、 でいた では、 では、 では、 では、 でいた では、 でいた では、 でいた では、						
焼け落ちた家の 跡にもどったち いちゃんの気持ちを読みとる。 ・お兄ちゃんとおの? ・お日ちゃんはいたの? ・お日ちゃんはいたの? ・おじちゃんの名。 ・不の時ちいちゃんはとした。 ・その時ちいちゃんはとしたがやってみように、でもいちゃんなずいたとはどのようにしたがやってみよはまた。 (動作化) ・がいてみよはまた。 (が対ここに帰って、ると思ってる。・絶対ここに帰って、ると思ってる。・絶対ここに帰って、ると思って名。・絶対ここに帰って、ると思って名。・・がたく信じている。・おばちゃんはいなくても大文夫、お母ちゃんを待っている。・おばちゃんだけっている。・おばちゃんだけっている。・おばちゃんだけっている。・おいちゃんを待っているからがあると、きととないときではどう違いますか。 (統合) ・「深く」があるととが分かる。 ・「深く」があると、きととないときではどう違いますか。 (統合) ・「お母ちゃんと、・・帰ってくるよ。」はだれ、とう違いますか。 でいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に高い間がせている。 (視写)			ましたか。	っていた。		
あにもどったちいちゃんの気持ちを読みとる。 ちを読みとる。 ・おばちゃんはなんと言ったの? ・おはちゃんはなんと言ったの? ・での時ちいちゃんはどうしましたか。・深くうなずいたとはどのようにしたかやっようよう。・ちいちゃんはまたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなが、なば、深くうなずいたがなが、なば、深くうなずいたがなが、なば、深くうなずいたといったいる。・絶対ここに帰って、や絶対ここに帰って、や絶対ここに帰って、や絶対ここに帰って、や絶対ここに帰って、や絶対ここに帰って、や絶対ここに帰って、やがたく信じと思ったもごく信じを記がたく信じを表したいまでもいちゃんはいなくても大丈夫待っているから。・「深く」があるときとないますか。・「深く」があるときとないますか。・「深く」があるときとないますか。・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」が分かる。・「なりかる。・「お母ちゃんと・・・・帰ってくるよ。」がきゃんに対する。・ちいちゃんが自分に言い間がせている。・でいちゃんが自分に言い間がせている。・でいちゃんが自分に言い間がせている。・視写しよう。・視写しよう。・ではいちゃんが自分に言い間がせている。・では、はになった。これには、ないとりぼっちになった。これには、ないとりばっちになった。これには、ないとりばっちになった。これには、ないとりばっちになった。これには、ないとりばっちになった。これには、ないとりばっちになった。これには、ないというないとは、表には、動作をといいとは、表にはいいとは、まにはいいとは、表にはいいとは、表にはいいとは、表にはいいとは、表にはいいとは、表にはいいとは、表にはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとは、まにはいいとはいいとは、まにはいいは、まにはいいとはいいはいいはいいとはいいは、まにはいいはいいはいいはいいはいいはいいはいいはいいはいいはいいはいいはいいはいい		仲け莈ちた宏の	・お見ちゃんとお母	·!\た!\		
おはちゃんはなんと言ったの? ・おはちゃんはなんと言ったの?** ・その時ちいちゃんはどうなずいたとはどのようにしたかやってみよう。・ちいちゃんはまた深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたのですか。(類推) ・おはちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があるときとないとすか。(統合)・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・視写しよう。 ・おはちゃんの心の中の言葉。・がりがあるととが分かる。・・ちいちゃんの心の中の言葉。・がいちゃんが自分に言い聞かせている。・はにすか。・・ではいるからがしまいから。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				11/2/VI ₀ //\///2/VI ₀		
を読みとる。 と言ったの? ・その時ちいちゃんはどうしましたか・深くうなずいた。 (動作化) ・深くうなずいたとはどのようにしたかやってみよう。・ちいちゃんはまた深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたのですか。 (類推) 「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」があるときとないとますか。 (統合) ・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれって、 (地方をの心の中の言葉。 とが分かる。 (統合) ・「お母ちゃんと・・・帰ってくる」とが分かる。 ・ちいちゃんの心の中の言葉。 とが分かる。 ・もいちゃんが自分に言い聞かせている。 ・はいちゃんが自分に言い聞かせている。 ・でいちゃんが自分に言い聞かせている。 ・でいきをが持つたことで表示が自分に言い聞かせている。 ・でいきをが自分に言い聞かせている。 ・でいきをが自分に言い聞かせている。 ・でいきをが自分に言い聞かせている。 ・でいきをを押さえる。				・お母ちゃん達、こ		
・その時ちいちゃんはどうなずいたとはどうなずいたとはどうなすいたとはどのですのですのですが、なぜ、のですいたをであるとであればいながながなが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、						
はどうしましたか。 ・深くうなずいたとはどのようにしたかやってみよう。 ・ちいちゃんはまた深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたのですか。(類推) ・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合) ・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。 ・説はちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写)					与える。	
・深くうなずいたとはどのようにしたかかってみよう。 ・ちいちゃんはまた深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたのですか。(類推) 「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「お母ちゃんと・・ちいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんの心や中の言葉。・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写) ・ひとりぼっちになったことを押さえる。(視写)			_	・深くうなずいた。		
はどのようにしたかやってみよう。・ちいちゃんはまた深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたのですか。(類推) 「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・視写しよう。 はですか。・視写しよう。 たい。 ・ちいちゃんは母と兄がもどらとかたく信じて行っている。とかたくはいなくても大丈夫、お母ちゃんを待っているから。・「深く」があると強く思っている。(統合)・「いちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写) ・ひとりぼっちになったことを押さえる。(視写)				/ 新 <i>ル</i> ェル ヽ		
・ちいちゃんはまた 深くうなずいたが なぜ、深くうなずいたが なぜ、深くうなずいたが なぜ、深くうなずいたのですか。 (類推) 「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があると きとないときでは どう違いますか。 (統合) ・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。 ・だいちゃんが自分に 言い聞かせている。 (視写) ・ ひとりぼっちになったことを押さえる。 でいちゃんが自分に 言い聞かせている。 (視写)				(剉/ TF 1七 <i>)</i>		
・ちいちゃんはまた 深くうなずいたが なぜ、深くうなずいたが なぜ、深くうなずいたが なぜ、深くうなずいたのですか。 (類推) ・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があると きとないときでは どう違いますか。 (統合) ・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。 ・視写しよう。 ・もいちゃんが自分に 言い聞かせている。 (視写) ・・ひとりぼっちになったことを押さえる。 (視写)					/ _ V 1 ₀	
深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたがなぜ、深くうなずいたのですか。 (類推) 「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があるときとないときではどう違いますか。 (統合) ・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・・視写しよう。 ・だいちゃんの心の中の言葉。 ・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。 (視写)				・絶対ここに帰って	・ちいちゃんは母と	
「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 「不深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「お母ちゃんと・・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・視写しよう。 「れる。・おばちゃんはいなくても大丈夫、お母ちゃんを待っているから。・「深く」があると強く思っていることが分かる。・からいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写)					_	
「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「婦ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・・視写しよう。 ・がはちゃんはいなくても大丈夫、お母ちゃんを待っているから。・「深く」があると強く思っていることが分かる。 ・が分かる。・ちいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写)・ないちゃんが自分に言い聞かせている。(視写)				・絶対にくると信じ	とかたく信じて待	
「お母ちゃんと ・・・帰ってく るよ。」からち いちゃんの気持 ちを読みとる。 ・「深く」があると きとないときでは どう違いますか。 (統合) ・「お母ちゃんと・ ・・帰ってくる よ。」はだれのこ とばですか。 ・視写しよう。 ・なても大丈夫、お 母ちゃんを待っているから。 ・「深く」があると 強く思っているこ とが分かる。 ・ちいちゃんの心の中の言葉。 ・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。 (視写)				-		
・・・帰ってくるよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・視写しよう。・視写しよう。 ・ちいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写) ・ひとりぼっちになったことを押さえる。			(類推)		みとらせる。	
るよ。」からちいちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「お母ちゃんと・・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・視写しよう。・視写しよう。 ・ちいちゃんの心の中の言葉。・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写) ・ないとりぼっちになったことを押さえる。						
いちゃんの気持ちを読みとる。 ・「深く」があるときとないときではどう違いますか。(統合)・「お母ちゃんと・・帰ってくるよ。」はだれのことばですか。・視写しよう。 ・「祝写しよう。 ・「深く」があると強く思っていることが分かる。・ひとりぼっちになったことを押さえる。 ・ちいちゃんが自分に言い聞かせている。(視写)						
ちを読みとる。 きとないときでは		· ·	・「深く」があると	_		
どう違いますか。 (統合) ・「お母ちゃんと・ ・・帰ってくる よ。」はだれのこ とばですか。 ・視写しよう。 とが分かる。 ・ちいちゃんの心の 中の言葉。 ・ちいちゃんが自分に 言い聞かせている。 (視写)						
・「お母ちゃんと・ ・・帰ってくる 中の言葉。 ったことを押さえ よ。」はだれのこ ・ちいちゃんが自分に る。 とばですか。 言い聞かせている。 ・視写しよう。 (視写)			どう違いますか。			
・・帰ってくる 中の言葉。 ったことを押さえ よ。」はだれのこ ・ちいちゃんが自分に る。 とばですか。 言い聞かせている。 ・視写しよう。 (視写)						
よ。」はだれのこ ・ちいちゃんが自分に る。 とばですか。 言い聞かせている。 ・視写しよう。 (視写)						
とばですか。				-		
・視写しよう。 (視写)					ତ ,	
- 15 -			1,0 0 0 0 0	(100)		
10	. '	•	•	- 15 -	'	'

気持ちを想像しな がら音読しよう。	
ちいちゃんの衰弱とずっと待っている状況を読みとる。 ・ちいちゃんはどんな様子ですか。 (類推) ・どこから弱っていることが分かりますか。(統合) ・食べ物が少ししかないので、弱っている。元気がない。・少し食べました。・また少しかじりました。 ・また少しかじりました。 ・ はいいい」「ごをいるのではいるのではいるので確認する。 ・ 「ほしいい」「ごをいるので確認する。 ・ ではいいるので確認する。	
5 学習場面をま ・防空壕の中にいる ・お母ちゃんとお兄 〔指導を要する児童 〔評価規	
	の帰りを 待ち続け
	ちゃんの
と いる。 心細さをおさえ、 様子と気	気持ちを
・早く帰ってきてほ 「深くうなずく」 想像して	-
	評価規準〕 いちゃん
	と気持ち
ってくるよ。」・書いたら発表し合 を考えて	て、母と
	つ強い思
13 6 今日の学習を ・まとめの音読をし (音読) ・ちいちゃんの気持 いを具体 分 振り返る。 よう。 ちを想像しながら いている	体的に書し
	。 と兄を待
	を書いて
確認をする。 たかげおくりにつ かげおくりについ いる。	4 2
いて考えていきま て学習することを (ワーク)	クシート

9 板書計画



10 座席表



〔発表〕

意欲的に自分の考えを発表する。自信があることは進んで発表する。

〔読むこと〕

場面に描かれていることを豊かに読みとることができる。 場面に描かれていることを概ね読みとることができる。